

名前：

私は、インターネットが普及した現代においても、新聞や雑誌は必要だと考えます。

まず一番の理由は、インターネットを使える環境にない人や、使い方がわからない人がいる以上、その人たちにニュースなどを伝える方法がなくなるのはおかしいと思うからです。インターネットは使えるようになっては確かに便利ですが、近年話題になっているデジタルデバイドの問題がまだ解決されていないのは事実です。それなので、万人に情報を届けられる手段として、新聞などの紙の媒体は必要不可欠だと思っています。

次に、万が一何らかの原因でネット回線が広い地域でダウンしてしまった場合、もし新聞などの人から人へ直に届ける情報源がなかったら、人々はインターネットが復旧するまで何も知ることなく待たなければいけなくなります。そのような状況を作らぬためにも新聞などの“人同士の直接のつながりが保てるもの”は重要であると思っています。

また、インターネットを使う際に、パソコンの画面を長時間に渡って見るような機会が増えると、目に過度の負担がかかるといった身体的な問題が生じることもあります。

精神的な面から見ても、インターネットが広まったのは二十数年のことであるので、その前からずっと慣れ親しんできた新聞や雑誌に比べて、ネットで見るニュースをどこか味気ないと感じてしまう人たすも多くいるのではないかと思います。この理由は、おそらく“作った人の顔がより良く見えるもの”を好む人が多いからではないでしょうか。

これらの理由から、私は人々に格差をほとんど与えない、人とのつながりが感じられる紙の媒体は必要だと思っています。